

（堺市小学校）学 校 図 書 館 部 会

1. 研究テーマ

「豊かな心と自ら学ぶ力を育てる学校図書館教育のありかた」
～学習センター，情報センターとして子どもの主体的な学びを支えるために～

2. 研究実施状況

実施日	研 究 内 容 の 概 要
5. 8 (水)	<p>○年間活動計画作成 於：熊野小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ，活動方針決定 ・年間計画作成 ・11月22日大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会 役割分担決定
6. 12 (水)	<p>○実践報告 「パスファインダーおよび読書感想画」 百舌鳥小学校 古谷 緑先生</p> <p>○自主研修 於：熊野小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書感想画の指導について ・技法の実践（マーブリング・コンテパステル） ・テーマ「堺学」の本について選書紹介
8. 20 (火)	<p>○教職員教育研究講演会 於：梅文化会館</p> <p style="text-align: center;">「堺を感じてもらえるどこでもドアー」華美（紙）芝居 講師 NPO法人堺観光ボランティア協会・華美芝居部隊</p>
9. 5 (木)	○読書感想文コンクール審査
9. 25 (水)	(1) 審査用冊子準備
10. 2 (水)	(2) 二次審査会
11. 2 (土)	(3) 三次審査会
	(4) 表彰式
11. 22 (金)	<p>○大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会（泉北大会）開催 於：サンスクエア堺</p> <p>研究主題 「豊かな心と自ら学ぶ力を育てる学校図書館をめざして」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告 「子どもが作るパスファインダーおよび読書感想画の指導」 百舌鳥小学校 古谷 緑先生

1.8(水)	○読書感想画コンクール審査 於：上野芝小学校
1.22(水)	○授業研究 於：神石小学校 ・生活科「たのしさ 見つけたよ ふゆ」(1年) 神石小学校 徳永 真吾先生 ・研究討議会
2.12(水)	○実践交流会 ・各部員による読書推進活動，学習・情報センターとしての活用事例，委員会活動などの実践報告

○研究のまとめ

(1) 研究の視点

次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、学校図書館の機能を生かし、活用していくことが求められている。特に、教科等横断的な教育内容の組み立ては、これまでも学校図書館で実践してきた調べ学習がこれにあたり、今後はカリキュラム・マネジメントの一つとして実践がさらに広まるとされる。この横断的な学習には、多種多様な資料が利用しやすいように組織化されていることが不可欠である。しかし、学校図書館が、学習活動を支える「学習センター」「情報センター」として十分機能しているとは言い難い状況である。

そこで、読書単元や探求的な授業に対応する図書・資料を整えたり、それらを使った学習活動を考えたりすることを中心に研究を進めた。たとえば、さまざまな学習活動内容にふさわしい本の収集を行った。どのような本を選ぶかは、対象学年はもちろんのこと、同じ単元でも指導のねらいによって変わってくる。そこで、各研究部員は本の情報交換を行い、よりよい選書をめざした。

また、子どもたちが必要な情報を入手し、的確に記録する学習や入手した情報を比較・関連・総合しながら再構築する学習、考えたことを自分の言葉でまとめ、伝えることで互いの考えを広げ、深める学習を計画し、実践および研究を行った。

(2) 成果と課題

《授業研究》

1 年生活科「たのしさ 見つけたよ ふゆ」(1 月実施)

お正月の遊びから昔遊びへの興味を高め、地域の方に教えてもらったり、実際に遊んだりした以外の遊びを探求する活動である。図書を活用して、どのように遊ぶのかを調べ、遊び方の理解を深めるとともに、他児童が調べた遊びについても知ることによって昔遊びの理解を広げていく。

基本的な遊び方からていねいに説明してあり、しかも説明がわかりやすいものの、という図書を準備することが難しかった。使いやすいと思った本は、用具の持ち方や準備から書かれたものである。シリーズの中でいくつかの遊びがあるので、部会内で情報共有し、各学校の選書に生かしていきたい。

《大阪府・大阪市合同研究集会（泉北大会）》

研究集会での発表に向けて、昨年度から読書感想画の指導について取り組んできた。子どもたちの感想を適切に表すためには、個別の支援が欠かせない。表現技法についても、各月の部会で実践したり、実践報告で情報交換をしたりしながら研究を進めた。その結果、読書感想画の指導について、一定の共通理解を図ることができた。一方で、選書の難しさ、児童の思いを表現につなげることの難しさなどの課題も残っている。

《教育研究講演会》

堺の歴史を紙芝居や劇で紹介していただいた。児童向けに書かれた郷土資料が少ない現状で、堺の歴史を知る方法の一つだと考える。堺が生んだ偉人や堺に残る昔話などいくつかのタイトルがある。高学年では偉人、低学年では校区内の昔話について学ぶことができる。偉人についての児童用図書は、数種類しか出版されていない。また、堺の昔話として出版されているものは、低学年児童には難しい。引き続き、部内で情報交換を行っていく。

《その他》

情報活用能力の育成について、学び方を学ぶ方法として、パスファインダー作成について研究、実践を行った。「堺学」をテーマとして各部員が本を持ち寄り、選書を行った。郷土資料は、出版されている本が少ない上、一般に販売されていないものも多く、各部員が持ち寄り、中身を見ながら選書できたことが大きな成果であった。世界遺産登録があり、堺についての本の出版が増えてくることが予想されるので、その都度、情報交換を行い、資料収集に努めたい。

3. 定例日以外の研究

(1) 運営委員会，研究委員会

部会の運営方針や年間計画の検討，各研究集会，大会の準備などを行う運営委員会と，授業研究実施に向けた指導案検討，実技研修などを行う研究委員会を適宜実施した。授業づくりで必要となる選書の情報交換をその都度行った。

(2) 堺市読書感想文コンクール，読書感想画コンクール

全部員が堺市学校図書館協議会の幹事となり，堺市学校図書館協議会，及び大阪府学校図書館協議会と連携し，読書感想文コンクール，読書感想画コンクールの審査に参加。読書感想文コンクールでは，審査準備から3次審査，表彰式準備，表彰式までに参加した。また読書感想画コンクールでも審査に参加し，子どもたちの感受性豊かな作品や想像力に富んだ作品に触れることで実践力を身に付けた。

4. その他

- ・大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会開催
- ・堺市読書ノート「堺100冊チャレンジ」への参加
- ・堺市選書支援事業，巡回訪問事業への参加
- ・各校の学校図書館整備，読書活動推進などへの助言・協力